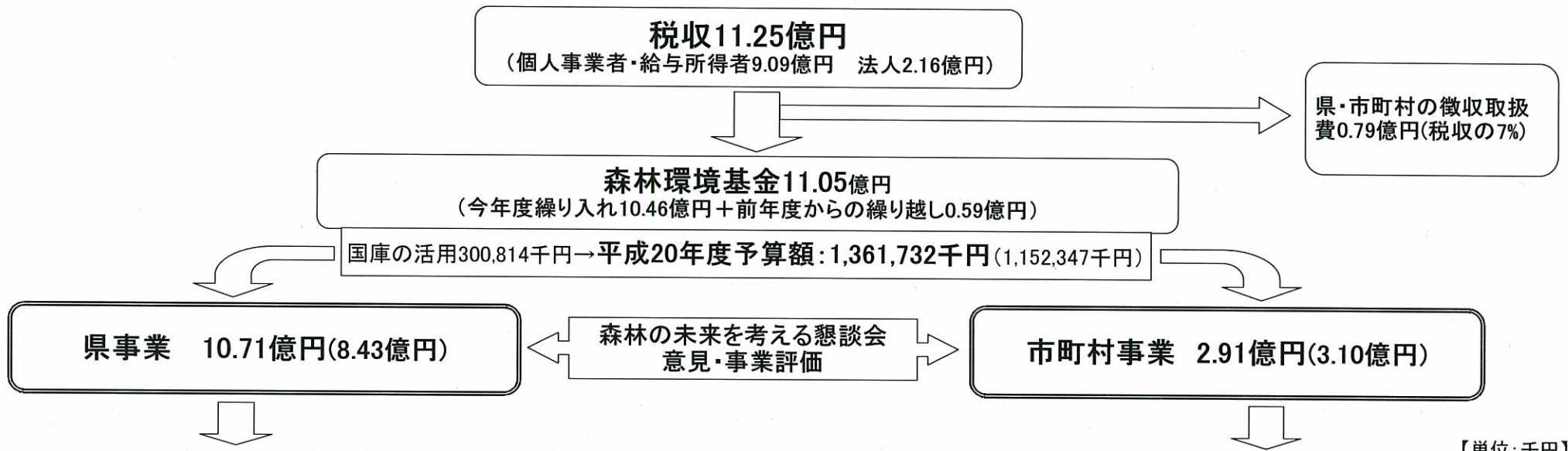


平成20年度森林環境基金事業の枠組み(当初予算)



森林環境を保全するための事業		森林づくりの意識を醸成するための事業	
1,028,241 (781,001)		42,964 (61,771)	
①森林環境の適正な保全 979,791 (696,901) ・水源区域の森林整備 ・森林GISの整備による森林情報の高度化、共有化	③県民参画の推進 27,372 (38,103) ・森林環境学習に必要なフィールドの整備、指導者の養成 ・森林ボランティアの養成、森林ボランティアサポートセンターの運営等	④森林文化の復興 6,944 (6,954) ・県内の森林文化を調査し、普及・定着を図る	⑤森林環境の調査研究 3,167 (8,930) ・水環境の変化を調査し、森林整備の効果を実証 ・木質バイオマスの利用
②森林資源の利用促進 48,450 (84,100) ・間伐材の搬出・運搬支援及び利用促進 (ペレットストーブの導入等)	⑥森林環境基金の運営 5,481 (7,784) ・森林環境基金事業に対する県民の理解を深めるための広報、懇談会の開催等		

森林環境を保全するための事業		森林づくりの意識を醸成するための事業	
211,450 (230,000)		79,077 (79,575)	
森林環境交付金事業【地域提案重点枠】 188,888 (230,000) ・市町村独自の優れた提案事業に重点的に取り組む財源 (事業の対象分野) ア 森林整備の推進 イ 県産間伐材の利活用推進 ウ 木質バイオマスの利活用推進 エ その他	森林環境交付金事業【森林環境基本枠】 79,077 (79,575) ・全ての市町村が継続的に森林づくりに取り組む財源 (事業の対象分野) ア 県民参画の推進 イ 森林の適正管理推進 ウ 森林環境学習の推進		
森林整備促進事業 22,562 (0) ・市町村有林等の整備を支援			

【単位:千円】

()は前年度当初予算